

学級担任のまなざし 17

Okayama Prefectural Education Center

R2.6.30(Tue)

「鏡の前ですること」

ある日、安全点検のため、先輩教員と校舎内を巡視していた時に尋ねました。「この学校には、なぜいろいろな所に大きな鏡があるのですか？」

その学校には、階段の踊り場や廊下などに大きな鏡が設置してありました。「どうしてだと思う？」と問われ、「子どもが服装を整えるためですか？シャツのえりやすそ、名札を確認したり。」「そうですね。身なりを整えさせることは大切ですから。他にはどうですか？」「安全のためですか？」と答えると、「曲がり角や出入り口は見通しが悪くて衝突が起こりやすいから、鏡を取り付けているんですよ。」と、教えてくれました。

そして、「自分は朝、教室に向かうとき、踊り場にある鏡の前で、笑顔を確認してから、教室に入っています。そして、子どもたちの前に笑顔で立つことを大事にしています。笑顔の方が子どもたちも気持ちいいですよ。」と話を続けられました。

その話を聞いて、私はドキッとしました。教員も人間ですから、体調が悪かったり、家庭や通勤途中でいやなことがあると、不機嫌な気持ちのまま出勤してしまうこともあります。でも、それは教員の都合であって、子どもには関係のないことです。

それ以来、私も毎朝、子どもたちが今日も一日がんばるぞ!という気持ちになれるように、笑顔で子どもたちの前に立つようにしています。教室に向かう鏡の前で、笑顔を確認するのが私の日課になりました。そして、子どもたちに向けた笑顔は、自分自身の気持ちも前向きしてくれています。笑顔の輪が広がっていくといいなと思っています。